



宮古市
Miyako City

サーモンランドプロジェクト事業

大海に出て成長し
ふるさと回帰する鮭のように



国指定名勝「浄土ヶ浜」

岩手県 宮古市
企業版ふるさと納税寄附募集プロジェクト

本州最東端のまち「みやこ」

(プロジェクトの概要)

サーモンランドプロジェクトでは、宮古市で育った子どもたちが地元へ愛着を持ち、市外に出た後も大人になってから鮭のように戻ってきたいと思える魅力あるまちづくりを目指しています。

宮古市に愛着を持ってもらうためには、宮古の景色、食べ物、働く人をより知っていただく事が重要です。

事業を通じて、市内外の方に宮古市と関わりを持ちながら愛着を抱いてもらい、魅力ある市を発信し続け宮古市への移住定住にも繋がります。



(事業の具体的な内容)

▷ 食堂「みやこ」の開催

関係人口の創出を図ることを目的に、令和2年度から首都圏等の市外在住者が宮古市と継続的に関わるイベントを運営。

宮古の食材を活用した料理を提供しながら、宮古と縁のあるゲストを招き、宮古とのつながった“きっかけ”や、宮古市出身者から地元の良いところを発信。

【開催回数】15回(R5までの実績)

【開催場所】東京都・宮城県仙台市

【参加者総数】各回20名程度



▷ 移住定住情報ポータルサイト

令和4年度に宮古商工高校(28名)が取材から原稿執筆、動画制作活動まで対応。動画は、市公式ホームページに掲載中。毎年、取材等を行いながら、サイトを更新。



▷ サーモンランド魅力発信事業

キャリア教育、地元の魅力を発見する地元修学旅行、まちづくりや企業課題をテーマにした課題研究、webサイト等での情報を発信。



(事業費)

1,190万円

(寄附目標額)

500万円

(企業の皆様へのメッセージ)

学生が地元で愛着を持てるよう、宮古市のまち・ひと・しごとを知ってもらう機会を創出しています。

事業に取り組んだ高校生等が大人になった時に、故郷が良かったと感じてもらえるよう魅力ある市を発信続けます。

また、食堂「みやこ」は、首都圏での開催に加え、宮城県仙台市等でも開催しており、世代や地域を超えて交流を図っています。

移住に限らず、多様な手段で宮古市とつながりを持つ機会を創出し、今後は、企業様とも関わりを持ちながら事業を深めていきたいことから、事業へご賛同くださいますようお願いいたします。